

「夢千代日記」 一早坂暁 原作 一 前進座 '16.1.22 斉藤スミ子

前進座は何度か見たことはあるが、今までは、あまり面白いとは思わなかった。しかし、この芝居は新劇で？歌舞伎っぽいのは違い、わかりすかった。ただ、話の筋は二、三つのストーリーが複雑に絡み合っていた。夢千代の経営する置屋を土台に夢千代を取り巻く「原爆」「残留孤児」のストーリーを中心に芸者のドラマもあり、やや盛り沢山でした。早坂暁はパンフレットの中では原爆に絞って・・・といわれていたそうですが・・・

だいぶ前、日頃テレビを見ない私がぼんやり記憶喪失で徐々に、記憶を蘇り元の妻のもとに帰るは早坂暁のドラマを見たことがある。でも、場面設定が少し違っていた様におもう。

3時間半(ランチタイム20分)？の観劇は長いけれど貝殻節の歌も踊り全体も上手く、底抜けに明るく、流石に芸者の芸だと思った。旅一座の雰囲気も抜群だった。

「原爆」「残留孤児」のテーマだと重たいものになるけれど、周りの枝葉で笑いあり明るいものになったように思った。

